

あらかじめ あじわう

Ⅱ列王
2章9～11節

渡り終わると、エリヤはエリシャに言った。「私はあなたのために何をしようか。私があなたのところから取り去られる前に、求めなさい。」すると、エリシャは、「では、あなたの霊の、二つの分け前が私のものになりますように」と言った。(9)

とても欲しくて欲しくてたまらなかったものを、パパとママがプレゼントすると約束してくれました。それを聞いたあなたはどうか。約束を果たしてくれる日が楽しみです、その日のことを考えるとうきうきしませんか。神様はそれよりもっと大きな約束を私たちにしてくださいました。レムナントである私たちに、未来の祝福を与えてくださったのです。それとともに、全世界237か国を生かす明確なビジョンと計画にそって導いてくださっています。この未来の恵みを受けたエリシャは、預言者エリヤに呼ばれたとき、ついに行きました。彼はその時、自分の職と財産をすべて捨ててしまったのです。

エリシャは、エリヤが王に嫌われているということを知っていました。ですから、エリヤといっしょにいたら、自分も王に嫌われて監獄に入れられること、死刑にあうことも知っていました。しかし、未来の祝福である神様の絶対計画がエリヤにあることを分かっていました。それゆえ、危険がいっぱいの道をあゆみながらも、神様が成し遂げられる計画をあらかじめ味わいました。

神様は私たちに未来の祝福を約束してくださいました。この事実を心から信じる時、エリシャのように神様が成し遂げられる絶対計画をあらかじめ味わって、危険の中でも挑戦する勇気を与えられるでしょう。

きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私が聖書で約束された未来の祝福を心から信じて、エリシャのようにあらかじめ味わう勇気を与えられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

きょうのみことばをもう一度読んで、()に入る単語を見つけて書きましょう。

渡り終わると、エリヤはエリシャに言った。

「私はあなたのために何をしようか。

私があなたのところから取り去られる前に、

求めなさい。」すると、エリシャは、

「では、あなたの()の、

()が私のものに

なりますように」と言った。

(Ⅱ列王2章9節のみことば)



きょうのでんどう

あひと
会う人じゅんび
準備する資料



あらかじめ せいふく (ほうこう)

イザヤ 43章 18～21節

見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。野の獣、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる。わたしが荒野に水をわき出させ、荒地に川を流し、わたしの民、わたしの選んだ者に飲ませるからだ。(19～20)

同じ内容を語っていても、その言葉を信頼できる人がいれば、信頼できない人がいます。いつも言うことがぶれず、ウソをつかない人が語るとき、その話を信じるようになります。そうであるなら、絶対に変わらない真理である神様のみことばを前にして、私たちはどうすべきでしょうか。

ダニエルは、神様の契約を信じていたので祈りを止めませんでした。捕虜として連れて行かれたのですが、神様がみことばのとおりになされることを信じたので、死の危機の前でも祈る姿を隠したり、祈ることを止めたりしなかったのです。ダニエルの三人の同僚は、王に火の燃える炉に投げ入れると脅されたのですが、神様のみことばに不信仰にならず、偶像崇拝をしませんでした。彼らは神様のみことばを偶像や世の中の王の話とは、次元の違うものだと思って心から信じていました。それゆえ、心の底から、この現場をあらかじめ征服したことを信じていました。また、その現場を征服されたものとしてすべてのことを行いました。

私たちも聖書のレムナントのように、神様の契約は必ず成り立つという信仰によって、現場をあらかじめ征服して、祈りを止めない信仰のレムナントになりましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私の現場をあらかじめ征服する契約のみことばを完全に信じることが出来ますように。揺れないで確信を持ちますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



絵をかこう

死の危機の前で、定刻祈りを守ったダニエルはどんな心だったのでしょうか。いの祈りであらかじめ征服していたダニエルの心を考えながら、表情を描いて、絵を完成させましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料



あらかじめ じょうじゅ

創世記 41章 38節

そこでパロは家臣たちに言った。「神の霊の宿っているこのような人を、ほかに見つけることができようか。」

世の中のすべては、日々発展しています。家にいながらインターネットを通して、全世界を見て回り、世界とつながることができる世の中になりました。それだけでなく、海外旅行へ行くかのように月へ旅行するための宇宙船を開発している国もあります。10年後はどんな世界になっているのか、誰も想像できないくらい、世界は急速に変化しています。一方で、人々の精神問題はさらにひどくなり、霊的問題はさらに深刻化しています。強大国の指導者は、経済問題や不便な生活の問題は見ることはできても、霊的問題は見つけることはできないからです。

霊的問題はレムナントが持つ福音だけが解決することができます。ヨセフは始め、奴隷としてエジプトへ行き、その後囚人として監獄に収監されたのですが、エジプトのエリートが霊的問題を解決できなくて、ヨセフを呼び出しました。これからの世界、霊的問題はヨセフのころよりさらに深刻化して、世の中を暗くさせるでしょう。それと同時に、福音を説明するための重要な道になります。激動の時代に、変わらない福音のみことばを準備して伝えなければなりません。神様の恵みを味わう祈りの奥義を味わえば、その日、そのことがあらかじめ成就してくるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。病気による問題が多い世の中で、いやすレムナントらしく、毎日祈りの奥義を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

私はヨセフのように、まわりの人々の霊的問題を解決する奥義を持ったレムナントです。私が心に留めている友だちの顔を描いて、伝道する理由を書きましょう。

でんどう
伝道しようとする理由

名前：

でんどう
伝道しようとする理由

名前：



きょうの でんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料



えいえんの けいやくの たみ

もくようび

レビ
19章 11～18節

あなたがたは、わたしの名によって、偽って誓ってはならない。あなたの神の御名を汚してはならない。わたしは主である。(12)

出エジプトしたイスラエルの民は、40年間荒野で留まらなければなりませんでした。毎日毎日引越しをするような生活でしたから、彼らは本当に大変だったことでしょう。それゆえ、イスラエルの民は神様を恨んで、モーセを恨みました。しかし、このとき、重要なことを見た人たちがいました。荒野でイスラエルを導かれる神様の方法を見た人々がいたのです。

火の柱と雲の柱をただ不思議なできごとと見たのではなく、神様がともにおられる証拠として見ました。ほとんどの人は、マナとウズラを食べながら不平を言ったのですが、このことを神様の導きだと見た人がいました。このように神様の御手のわざを見た人は、不安になったり怯えたりしませんでした。そして、カナン之地に入ることを期待して、その希望に心から喜んでいました。

私たちは、新しい生活様式に対応するため、たくさんの困難を乗り越えながら勉強しています。この時期を神様の導きと保護を見る、私たちの霊的な目を開くために神様が備えられた時期だととらえましょう。そしてこのような時代の中で、守り導いてくださる神様に感謝の祈りをささげましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。今日も神様が導いておられる火の柱と雲の柱を見る霊的な目が開かれますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



読書旅行

3月はどんな本を読みますか。



サリー・ロイド・ジョーンズ（著） 久保木（赤井）聡子（翻訳）いのちのこば社（出版）

神様とともに歩むための
101のヒント

Thoughts to Make Your Heart Sing



2020年、突如全世界を襲った新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によって、私たちの日常生活はだれも経験したことのないものへと変化しました。マスク生活を余儀なくされ、友だちと会いたくても、学校に行くことさえできまならないまま、長い時間をおうちのなかで過ごさなくてはならなかったでしょう。このように、私たちの生活の中に変化をもたらした新型コロナウイルスは、全世界の教会にも影響を及ぼしました。教会に集まって礼拝をささげることが難しくなったので、信徒の神様への愛と信仰が徐々に失われていきました。このようなときほど、私たちだけでも神様の世の中に対する思いを心に留めなければなりません。そのようなレムナントに、神様はともにおられるという証拠をさらに確かに与えてくださるでしょう。

3月は神様の思いを心に深く留めることができる本「神様とともに歩むための101のヒント」を紹介します。神様は変化する時代をあらかじめご存知で、私たちの心に留めるべき願いを準備しておられます。その願いを私のこととして、証人になる準備をしましょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料



かんしゃする ところ

レビ
22章 17～20節

「アロンとその子ら、またすべてのイスラエル人に告げて言え。だれでも、イスラエル家の者、またはイスラエルにいる在留異国人がささげ物をささげ、誓願のささげ物、あるいは進んでささげるささげ物として、全焼のいけにえを主にささげるなら、あなたがたが受け入れられるためには、それは牛、羊、あるいはやぎのうちの傷のない雄でなければならない。(18～19)」

出エジプトをしたイスラエル民族は、荒野を通りながら重要なことをしました。幕屋と幕屋におさめる物を作り、礼拝制度と組織を作ったのです。それらすべてのことを神様が言われたとおりにしました。神様はなぜそのようなものを作りなさいと言われたのでしょうか。

1つ目、イスラエル民族が感謝を忘れないようにするためでした。契約を忘れた人々は、不平を言って恨みました。彼らは自らの存在意義を見失った生活を送りました。そのようなときに、感謝する心を回復した人々は、神様がくださったまことのいのちの価値を知って感謝しました。そのとき、神様はエジプトの奴隷になって偶像崇拜をするしかなかったイスラエル民族の真の礼拝の対象をも回復してくださったのです。2つ目、神様が成就する計画をイスラエル民族にあらかじめ契約として与えてくださいました。3つ目、細かく導いてくださいました。

神様が礼拝制度と組織を作りなさいと言われた理由三つを記憶して、感謝する心を回復したレムナントにまことの霊的力が与えられます。この事実を記憶して私の心をよく見てみましょう。

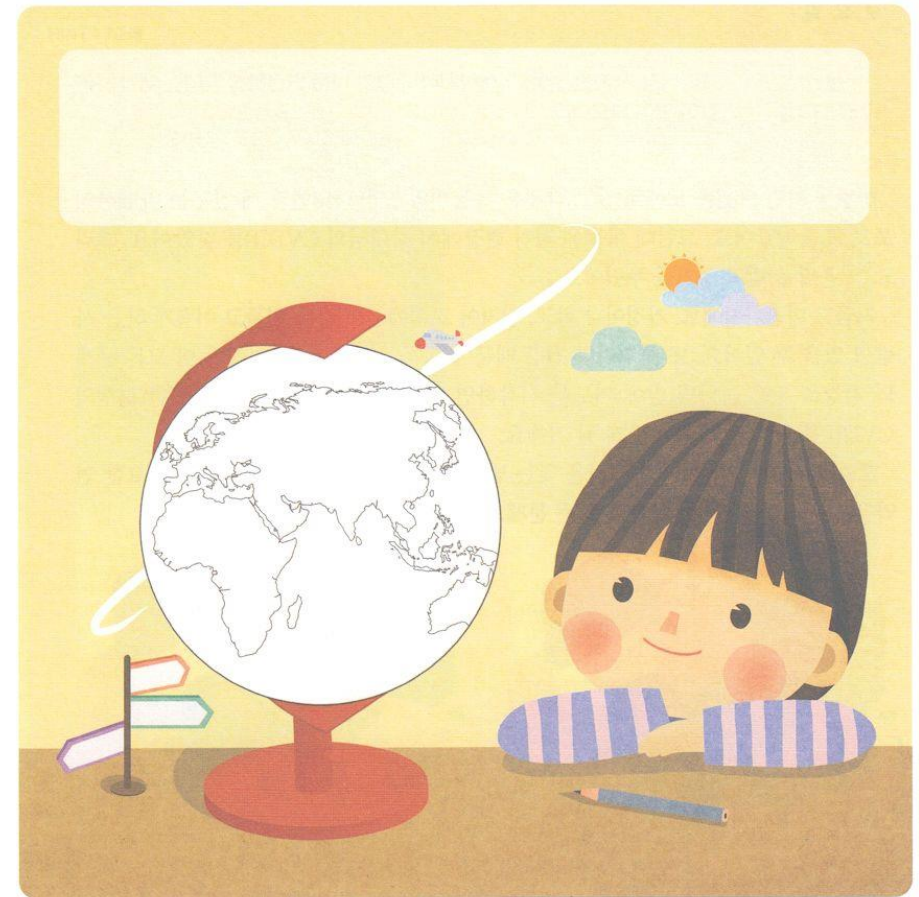


神様、ありがとうございます。今日も感謝の心を忘れないで、契約を握るレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

まことの神様に会った私たちは、感謝の心を回復しました。
まだ、神様に会っていない未伝道種族がいます。彼らに神様に会う道を伝えるための準備をしましょう。



あひと
会う人

じゅんぶ しりょう
準備する資料



20
とようび

もんだいの なかでも CVDIP

ヨブ 23章10節

しかし、神は、私の行く道を知っておられる。神は私を調べられる。私は金のように、出て来る。

聖書を見てみると、ヨセフは奴隷で、ダビデは羊飼ひ、ダニエルと三人の同僚はバビロンの捕虜でした。しかし、彼らは自分の現場で神様のCVDIPを見つけました。そして、その答えを受けて証拠を味わいました。

今も同じです。家庭や学校、さらに教会にも、私に意地悪をする人がいることがあります。また、学業や健康のために大変だということもあるでしょう。しかし、そのすべての問題と環境について神様の前で祈り始めれば良いのです。その祈りで未来に関する一生のCVDIPをあらかじめ答えとして受けるようになるでしょう。

今日、CVDIPという契約の旅路を見つける歩みを始めましょう。神様がくださった重要な契約を握って歩む旅路の中で、すべての問題と事件は答えと土台になります。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。問題と事件の中でも、神様がくださったCVDIPを握って、すべてを祝福に変えられる神様の力を体験できますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちがいを
みつけよう

目の前に立ちはだかる壁のような問題について、神様からのCVDIPを見つけるために祈るレムナントがあります。その姿を描いた2つの絵のちがいを7つ見つけながら神様からの私のCVDIPについて神様に質問しましょう。

HINT: 7つ



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶ
準備する資料